

6

梅雨入りしてからは雨の日が続いていっていますが、室内や園庭で子どもたちの声は貝辰やかに園内に響くほど元気に遊んでいます。さて、梅雨が明けると夏本番！今年も暑い夏がやってきます。水分補給や休息を十分に摂りながら、プールや水あそびなど夏ならではの遊びを存分に楽しみたいと思います。お家の中でも水分補給を忘れずに元気に過ごしましょう。

しいの実ぐみ たんぽぽみ みずぐみ

クラスだより 円町ふね隣保園 2023.6.28

※プール、水あそびが始まります。
パンツリとタオルをゴムでくくって専用のカゴに入れて毎朝用意して下さい。それぞれのクラスに専用カゴを設置します。

しいの実ぐみ

お友だち同士、気になっちゃいます！

4月から2ヶ月が経ち、すっかり園に慣れた子どもたちは、毎日元気に笑顔で遊んでいます。未くのが上手にこなしている月齢の大きい子どもたちと、ずいぶんや旋回などで身体をたくさん動かすようにした月齢の小さい子どもたちは音屋の中を日々動き回り探索遊びを楽しんでいます。

さらに最近はお互い気付き、意識し始めています。歩いている子どもたちは「まてまてー」と追いかけて遊ぶが始まります。一人はきゅー！と笑顔で大きな声を上げ逃げ、友だちが追いかけてきているのを見ながらまた逃げ、一人はその友だちをハッハッと笑って追いかけていくのを見ながらまた追いかけてとお互いの姿を見て、一緒に遊びを楽しんでいます。月齢の小さい子どもたちは、動くことができるようになり、同じように動いている友だちが気になって顔の前に近づいては、お互いに手を伸ばして触れようとしたり、気付いたら足の方へ行き友だちの足をむいては角虫、お花などに興味津々です。月齢の大きい子どもたちが小さい子どもたちの豆を落とす撫でる姿もとても可愛くて、様子をみては月齢の大きい子どもたちは「ハッ」と気付いて保育者と目が合いニコッと笑う顔は本当に嬉しくもあり、成長を感じます。これから関わり合いの気持ちや「エー」層が大きくなり、おもちゃの取り合いやトラブルも出てくると思います。ですが、自分の思いと目先の思いに気付く違いが出てきた時の子どもたちの反応が楽しみです。保育者は干渉しすぎず、お互いに刺激を受け、様々な感情や関わり方を学んでほしいと思います。

②もうすぐ夏本番!!②

とんとん暑くなり、汗をかきやすくなりました。しいの実ぐみも夏ならではの遊びをたくさん楽しみたいと思います。ハッパグの水あそびから始まり、園庭に出て泥水あそびや寒天、氷などの感触あそび、絵の具などのボディペインティングなど色々なことを考えています。どんな反応をするのか楽しみです！

たんぽぽみ

ありがとうのプレゼント作り

6月16日にお家の方へ「いつもありがとう」のプレゼントを持って帰っていただきました。たんぽぽ組の子どもたちからはウォールホケットを作りました。まずは色画紙に好きな色のマジックで絵を描きます。子どもによって腕を左右に動かして描いたり、「てんてん」と色画紙に色がつくことを楽しんだり、ぐるぐる腕を大きく動かして描いたり、さまざまでした。そして、手型スタンプをしました。たくさんある色の中から2つ選んだのですが、うれしくて近くに居るスタンプをばっさと選ぶ子どももいれば、悩んでなかなか選ぶことが難しい様子の子どももいました。友だちも一緒に見ていたので、制作をしている友だちの手型がとれると「わぁぁ」と笑顔の子もたくさんです。パチパチパチと拍手をしている子どももいました。早くやれたと木の前の大渋滞になっていました。



子どもたちの描いた絵と可愛い手型と写真をつけてウォールホケットの完成です。「今日、お家の人に「いつもありがとう」のプレゼントを渡すね」と見せながらお話すると、自分の写真がついたプレゼントを見てニコニコうれしそうにしていました。

お家の方のお迎えが待ちきれず、ロッカーの上に置いてあるプレゼントを触ろうとする子どももいて、早く渡したい様子が伝わってきました。お家の方へプレゼントを渡すという、いつもと違った特別な経験を楽しめた子どもたちでした。



水あそび

暑い日が増えてきたので、前庭などに出掛けたり後屋上へ行って水あそびをすることが多くなりました。タライに水を入ると、手でちゅちゅちゅ触ったり、そうじョウロやペットボトル、コップなどに水を入れて感触を楽しんでいます。水あそびを始めた頃は水が苦手な子どもも多かったのですが、今は自分から水を触りに来れるようになっています。水が大好きな子どもたちはタライに溜めた水では足りず、自分からシャワーの水にダイブミッパにガカリに来る姿もあります。

来月からはプール水あそびが始まります。1じも身体も開放的になり、プールや水あそびを楽しんでいきたいと思っています。



最近の好きな絵本紹介

「はたらくくま」
「はたらくくま」の歌が絵本になって、一冊です。乗り物が出てくるのが楽しく、子どもたちからリクエストが多いです。(この本が入った箱を知っている子が指さしたり開けようとしています。)
歌を覚えて一緒に歌っている子どももいます。

「ペンギンたいそう」
絵本に描いて身体を動かして楽しんでいます。「くまのぼして〜ちゅちゅ〜」「おしりふいて〜ぷりぷり〜」と子どもたちが一生懸命真似、こしている姿がとっても可愛いです。毎朝の目課になりつつあります。

みずぐみ

ありがとうの日 のプレゼント作り

みずぐみにしては、何回か糸会を描いていますが、クレパス画の筆圧が弱い子どもも「タタタ、たのて」、ダンボールにクレパスで塗り込み、カーランド作りをすることになりました。



雲の形のダンボールにまず好きな色のクレパスで塗ります。最初(糸糸の糸糸か、た子どもたちも「も、も、も」と言われることが「カカ」指先にイタリクレパスの色も濃くなっています。次はしっかりと塗り込んで雲のダンボールにひも通します。キラキラしたひもに紫や青など何色か色があり、好きな色を選んで小さな穴に慎重に通していきます。スイスイできる子どももいれば、なかなかひもを通らず「で、で、で」とあきらめそうになる子どももいました。でも保育者が「ダンボールを手持ち、重かたないようにすると、集中して通すことができてきました。1つ穴に入ると下から顔を出すひもを「しゃー」と引き、張り「できた!!」と笑う顔が、とても嬉しそうなお友だちたちです。

雨粒の形に作ったダンボールを見せると「あ、あめや」と次は何をするのかな?とワクワクした表情を見せています。シーレを見せると「わたしあめ!」「きいろい!」「など」リクエストが「いっしょ!!好きな色を選び、自分好みの雨粒を作りました。1つに集中して残りの3つは少しでいいや」とい、た子どももいれば、4つじゃ足りない!!と5つの雨粒に見る子どももいて、それぞれかわいい作品になりました。ぜひお家に食卓でいただくとうれしいです。これから糸作を通して、少しずつ糸をた、ていく喜び、ひとつひとつの行糸を楽しんでほしいと思います。